

小2

生活の中にある、いろいろな科学を見つける

実験をする中で自分で科学を発見し、「なるほど!」「わかった!」という体験をします。実験したことをノートにまとめたり、他者に話したりすることで、論理的に考える習慣を身につけます。



身近の不思議な現象から発展的内容まで

身近なものを題材としていますので、興味を持ちやすく理解しやすい内容です。身のまわりの不思議からスタートしますが、小学校高学年レベルの発展的な内容にも触れていきます。



不思議と感動がいっぱい! 楽しすぎる「実験」!

1つのテーマに対し、様々な角度からアプローチするため、毎回複数の実験を行います。「磁石を食べるスライム」、「泡が噴き出す」といった、五感を刺激して、興味を引く実験でいっぱいです。



「まとめる力」を育成・プレゼンテーションにも挑戦

実験で分かったことをノートにまとめます。まとめてことで知識を定着させ、論理的思考力も育みます。また自分の言葉で説明するプレゼンテーションにも徐々に取り組みます。



授業の流れ

授業時間 120分

今回はどんな
発見があるのかな?

わくわく

予想しよう

挨拶

アクティブライフ

イメージタイム

テーマに関連した
さまざまな実験をするよ!
(実験の数は、
テーマによって異なります。)

実験
まとめ

まとめ
(アウトプット)

挨拶

頭と身体を動かして、スイッチON! グループのみんなと一緒に頑張ろう!

今回のテーマについて把握します。問題を予想をしながら、実験前にイメージします。

「なぜ?」を調べて、自分なりの答えを出す。「どうしてそうなるか?」をグループで話しあったり協力して実験したりする取り組みも行います。

グループ内で実験で分かったことを話したり、聞いたりします。また、実験記録ノートにまとめを記入します。



<ふくしゅう> 家でも復習動画を確認しよう!

Active time

アクティブライフ



集まった人を和ませ、コミュニケーションを取りやすい雰囲気を作る(アイスブレイク)。能動的に実験に取り組めるように、グループのメンバーを知る時間

Image time

イメージタイム



テーマに興味を持ち課題について考え、予想を立てる習慣を身につける時間

Experiment

実験



問題を発見する力、筋道を立てて考える力、結果を予測する力を身につける

Output

まとめ (アウトプット)



プレゼンテーション、コミュニケーション能力、まとめる力(ノートテイキング)の基礎力を育む

小2 実験プログラム



4月 世界最強の磁石

磁石の力が見える実験！世界最強の磁石は、とんでもないものまで引きつけます。びっくり！磁石を食べるスライム！？

人気
No.1



7月 ワンダフル ベジタブル

野菜でマジック！？赤キャベツから、色素を取り出し、水溶液を酸性・中性・アルカリ性に仲間分けします！



10月 光がレンズをとおるとき

レンズで光をあつめたり、そのしくみを使って映写機を作成したりします。思い通りに映せるかな？光をあやつろう！

NEW



1月 よみがえれ！古代の科学

空気のすごい力を体感しよう！空気の力を利用して、様々な実験に挑戦します。古代の科学を再現しよう！



5月 植物からのおくりもの

「デンプン」と「うがい薬」にはとても不思議な関係が…！でも、デンプンって何だろう？実験で調べてみよう！



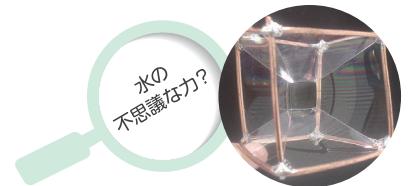
8月 作ろう！とうめいセッケン！

水と油の不思議な関係を調べます。また、状態変化を利用して、ステキなかたちのとうめいセッケンを作ります！



6月 トルネード大作戦！

水のひみつの力を調べます。不思議なアイテム「トルネード」や、シャボン液でできる不思議な「表面張力アート」を作ろう！



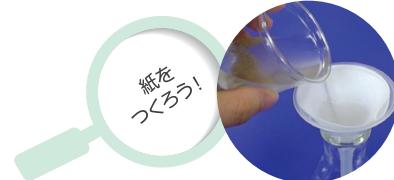
9月 電気の世界に乗り出そう！

電気が流れる仕組みを調べます。どんなものに電気が流れるのか調べ、イライラ棒も作成します。電気を使いこなそう！



11月 パピルスの彼方へ

紙からパルプを取り出して、世界に一つだけのオリジナルの紙を作成します。また、泥水をろ過してキレイな水を取り出します。



12月 炭酸水の泡の秘密

炭酸水の泡の正体は？炭酸水から出る気体の性質を調べます。また、石灰水や炭酸水をつくります。



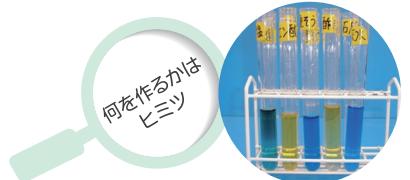
2月 ガリレオの見つけたこと

ふりこの科学！？ふりこの周期についての法則を、実験を通して確かめます。また、共振を利用した様々なふりこを作成します。



3月 科学者からの挑戦状

2年生の実験で扱った器具をつかい、「ふしぎなもの」を作ります。何を作るかはヒミツです！みんながあつと驚くものですよ！



※カリキュラムは予定です。内容や実施月等は変更する場合がございますので、予めご了承ください。

ちょっと心配な方へ

Q & A

お答えします！



A. 1グループにつき1名の講師がサポートしますので、ご安心ください。人前で話すのが苦手な方こそ、ぜひ、サイエンスラボで経験してほしいと思っています。経験することが大切！今後、必要な力の1つです。

Q. ノートを書くのが苦手のようです。書き方もザツで、このままでいいのでしょうか…。

A. 良いレポートとは、自分以外の人がノートを見たときに、その実験がわかるもの、つまり他人に説明するつもりでまとめができるかがポイントです。レポートの上達には、プレゼン（言葉で説明する）経験が非常に役立ちます。すぐに上達するものではありませんが、続けていく中でスムーズに書けるようになります。苦手を「自信」に変える経験をしてほしいと思っています。